



MARUTANE
Quality Seeds

Cabbage キャベツ

宇治交配 レッドウィナー

低温結球性に優れた、色鮮やかなボールタイプの紫甘藍！



特 性

- ① 従来品種に比べて、外葉・結球葉共にブルームが少なく、ツヤのある鮮紅色を呈します。
- ② 低温結球力はもちろんのこと、高温結球力にも優れていますので播種期の幅が非常に広く、作りやすい品種です。
- ③ 球はボール型で球重は1.2～1.5kg位です。球の肥大力が抜群な上、在圃性が高いので2kg以上で収穫することも可能です。
- ④ 一般平坦地の6月下旬～8月下旬まき・10月下旬～3月下旬収穫、10月中下旬まき・6月上中旬収穫、2月中旬まき・6月中下旬収穫などに適します。

栽培のポイント！

育苗

レッドキャベツは他のキャベツ類に比べて草丈が伸びやすい性質をもっています。したがって、定植後の活着を良くする為には育苗時に徒長を抑え、がっちりとした苗を育てることが大切です。その為、特にプラグトレイ育苗の場合は水のやりすぎに注意して徒長をさせないようにすること、さらに播種後20～25日目の若苗定植とるようにします。

施肥

比較的生育期間の長い品種ですので、全施肥量を10a当たり窒素成分で20kgとし、元肥10kg・追肥10kgの追肥重点型として数回に分けて施用します。ただし、基本的に多肥栽培は避け、結球始め以後の追肥は着色が不十分となる危険性がありますので絶対に施さないでください。

一般管理

レッドキャベツは寒さに対する抵抗性は強いですが、圃場が極端に乾燥すると生育が止まり、外葉の成長及び球の肥大が悪くなるので、10月中下旬まき・6月上中旬収穫、2月中旬まき・6月中下旬収穫などの畑地栽培（乾燥地）の場合は、乾燥防止の為マルチングをすることが望ましいです。また、湿害を受けやすい性質も持ち合わせていますので、水田圃場の場合は排水を良くして高畦にすることも大切です。

下記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

